



Ivanti ホワイトペーパー

ハードウェア資産管理

資産の把握を怠ると高くつく



目次

はじめに.....	3
ハードウェアライフサイクル管理の 8 つの段階.....	3
適切なオフボーディングによるコスト削減.....	3
動産税.....	3
セキュリティ.....	3
ハードウェア資産管理の上位 6 つの利点.....	4
LANDESK ソリューション.....	4
参考資料.....	4

本書には Ivanti Software, Inc. とその関連会社（「Ivanti」と総称）の機密情報と専有財産の両方またはいずれかが含まれており、Ivanti の事前の書面による承諾なしにこれらの情報および財産を開示または複製することはできません。

Ivanti は、本書の内容または関連製品の仕様や記述について予告なしに随時変更する権利を有します。Ivanti は、本書の使用について一切の保証を負わないものとし、本書に記載されている誤りに対して責任を負わないものとします。また、本書に含まれる情報の更新を確約するものではありません。製品の最新情報については、弊社ホームページ（www.ivanti.com）をご覧ください。

Copyright © 2015, Ivanti .All rights reserved .LSI-1507 05/15 JC/BB/DL



はじめに

ほとんどの人は、ソフトウェア資産を適切に管理することの価値を理解しています。では、ハードウェア資産管理についてはどうでしょうか。ラップトップ、デスクトップ、プリンタ、その他の消耗品といった組織内のハードウェア資産を追跡することにコスト削減を見いだすことができるでしょうか。ハードウェア資産管理は、Ivanti IT Asset Management Suite powered by Landesk (ITAM) の適用範囲を広げると同時に、企業のコストとリソースを大幅に削減することにより、よい結果をもたらします。

ソフトウェア資産管理とハードウェア資産管理は密接につながっており、いずれか一方だけを選ぶことはできません。新しいソフトウェア要求が届いたときに真っ先に考えなければならないのは、それを実行するハードウェアのことで、多くのソフトウェアアプリケーションは、正常または効率的に実行するために特定のハードウェア機器を必要とするからです。

ハードウェアライフサイクル管理の 8つの段階

コンピュータには、基本的な購入価格とは別に、ライフサイクルを通じてコストが付随します。適切に管理された PC は管理されていないものに比べて 37% コストが削減されます¹。あらゆる IT ハードウェアの保証、回収、リース、および契約情報をセントラルリポジトリでモニターすれば、リソースのロスや無駄をなくすることができます。



ハードウェア障害はデータ損失およびシステムダウンタイムの原因全体の 53%を占めています

ハードウェア障害はデータ損失およびシステムダウンタイムの原因全体の 53%を占めています。とはいえ、企業の生産性への悪影響を回避し、投資効果を最大化することは可能です²。ビジネスの変化に応じて、資産の割り当て、再割り当て、拠点間移動が行われます。機器を把握することは資産管理者にとって難しい課題です。全体像を把握するには、資産の導入から廃棄までのライフサイクル全体をモニターすることが不可欠です。

ITAM では、行方不明になる資産を確実になくすために、以下に示す 8 つの段階を網羅しています。

- ニーズの把握:** ユーザーのニーズを満たし、将来の成長を促進させるために要求を追跡します。
- ソリューションの選定と発注:** ワークフロー機能を使用してリポジトリデータからの十分な情報に基づいて意思決定を行います。
- 入庫・登録:** 変更管理および関係追跡のために資産のベースラインを使用します。
- 資産の準備:** ライセンスを正確にモニターするために、割り当てる機器に適切なソフトウェアをインストールします。
- 割り当て:** リソースを戦略的に配分します。
- アップグレード・保守:** 発注情報、契約、保証およびリースデータといったサポート用リソースを結び付けます。

- 再割り当て:** 機器をきれいにして再割り当てし、追跡します。
- 廃棄:** データを抹消し、ソフトウェアライセンスを回収した上で、ハードウェア資産を廃棄します。

適切なオフボーディングによるコスト削減

エンドユーザーのオフボーディングは人事部門だけの責任ではなく、IT 管理部門の責務でもあります。従業員は生産的に仕事をこなすためにツールを必要とします。従業員の雇用時には適切なハードウェアとソフトウェアを支給する必要があります。しかし、従業員が離職した時点または機器が寿命を迎えた時点でハードウェアおよびソフトウェア資産を適切に廃棄することの重要性には、多くの企業が気付いていない可能性があります。また、遊休資産に対してコストが発生する可能性があることにも気付いていないかもしれません。これはどうということでしょうか。

資産税

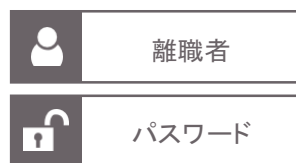
第一に、企業は保有資産の適正市場価格に基づいて動産税を支払うことを義務付けられています。この保有資産には現在使用されていないもの、保管されているもの、販売用のものが含まれます³。

アメリカの場合は、課税価額は州によって異なりますが、通常はハードウェアの価値の 7~10%です。これは一見、たいしたことがないように思えるかもしれませんが、サーバーのような高額機器の場合、数十万ドルが無駄になる可能性があります。実際のところ、遊休ハードウェアを捨てるだけで莫大な出費を削減できます。

企業の資産を適切に廃棄することにより、節約の機会や、さらには若干の収益を得る機会が見つかる可能性があります。国にもよりますが、慈善寄付による税控除の対象となることが考えられます。古いハードウェアを購入し、再生して販売する企業もあります。資産のリサイクルも財務的に利益がある選択肢であり、環境に配慮した組織としてブランドイメージ向上にも役立ちます。

セキュリティ

第二に、ハードウェア資産を廃棄する場合は、機密データの紛失によるセキュリティ侵害を防止するための対策を事前に講じる必要があります。例えば、従業員が離職したときに適切にオフボーディングされていないハードウェアやソフトウェアに関してコストが発生しがちです。



89%の離職者がパスワードを持ち去り、アクセスできる状態を保っています

2014 年 12 月、対事業所サービス業界では 92 万 3,000 人の社員が職場を去りました。しかも、89%の離職者がパスワードを持ち去り、アクセスできる状態を保っています⁴。その結果、企業は高いセキュリティリスクにさらされるだけでなく、離職者が持ち去った行方不明のハードウェアやそれらの機器にインストールされていたソフトウェアに関して莫大なコストが発生する可能性もあります。



Intel 社および Ponemon Institute 社が 329 社を対象に実施した調査によると、対象企業が 1 年間で紛失したラップトップは 8 万 6,000 台以上に上り、1 社平均で 640 万ドル、全体で 21 億ドルという驚くべきコストが発生しています⁵。実際のラップトップの価格は高く思われるかもしれませんが、実のところ、関連するコストの中では最も低いものです。情報漏えいや生産性低下、課徴金はコンピュータの基本価格をはるかに超えています。たとえ機器が回収されたとしても保管庫にしまい込まれ、さらにコストが生じる可能性があります。

ハードウェア資産管理の上位 6 つの利点

- 保守コストの最小化
- システムダウンタイムの削減
- ハードウェア予算の削減
- 保証、回収、およびリース情報のモニター
- 適切な廃棄による情報漏えいの防止
- 廃棄による節約または収益の可能性

LANDESK ソリューション

Ivanti IT Asset Management Suite powered by Landesk は、検出、インベントリ、ソフトウェアライセンス管理、Ivanti Data Analytics powered by Landesk、再利用、および資産ライフサイクル管理で構成されています。これらのソリューションは、単一の Asset Manager Workspace に統合されています。このワークスペースに付属のカスタマイズ可能なインフォグラフィックスタイルのダッシュボードを使用すると、投資収益率を視覚化できます。

このスイートはソフトウェア管理にとどまらず、ハードウェアの購入、保証、回収、およびリース情報も追跡するため、更新が必要な機器を把握できます。Ivanti Empower powered by Shavlik を使用して事前に計画し、機器を最新の状態に保つことができるようになります。

IT 部門が現在直面している問題や経費の多くは、適切な Ivanti IT Asset Management Suite によって軽減することが可能です。資産を購入から廃棄まで追跡することは、保有する資産の内容、所在、およびパフォーマンスをライフサイクルの各段階で把握する上で極めて重要です。ITAM は、ベンダーおよび契約の管理、セキュリティへの取り組み、そして場合によっては 25% から 50% ものコスト削減を支援します⁶。

参考資料

1. <http://www.envisionitpartners.com/the-3-costs-of-it>
2. http://www.infostor.com/backup-and_recovery/disaster-recovery/data-loss-and-downtime-costing-enterprises-1.7-trillion-a-year-survey.html
3. <http://money.howstuffworks.com/personal-finance/personal-income-taxes/personal-property-taxes.htm>
4. <http://www.lawpracticeadvisor.com/rogue-employees/>
5. [http://www.informationweek.com/mobile/lost-laptops-cost-\\$18-billion-per-year/d/d-id/1097314?](http://www.informationweek.com/mobile/lost-laptops-cost-$18-billion-per-year/d/d-id/1097314?)
6. <http://ws.iaitam.org/Misc/PCToday-ITAM.pdf>

詳細は Contact-Japan@Ivanti.com 宛てに電子メールでお問い合わせいただくか、下記電話番号までお問い合わせください。

- 米国: 1.800.982.2130
- ヨーロッパ: +44 (0) 1344 442100
- アジア太平洋: 1300 661 871
- 日本: +81 (3) 5226 5960

各国の営業拠点および連絡先については、www.ivanti.co.jp をご覧ください。